



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ヤマタネ
コード番号 9305 URL <http://www.yamatane.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 元裕
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部経理部長 (氏名) 土屋 修 (TEL) 03-3820-1111
四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	28,045	3.2	1,894	△1.0	1,441	8.2	750	189.0
25年3月期第2四半期	27,181	6.2	1,913	3.7	1,332	3.3	259	△49.7

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,479百万円(663%) 25年3月期第2四半期 193百万円(△51.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	7.07	—
25年3月期第2四半期	2.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	85,999	26,507	28.8	232.78
25年3月期	88,194	25,403	26.9	223.41

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 24,738百万円 25年3月期 23,744百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,500	2.2	3,900	△1.7	3,000	3.9	1,500	△50.3	14.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	113,441,816株	25年3月期	113,441,816株
② 期末自己株式数	7,167,012株	25年3月期	7,162,899株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	106,275,752株	25年3月期2Q	106,285,007株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第2四半期の概況

当第2四半期の経営成績は、各部門において増収となり、売上高は280億45百万円（前年同期比3.2%増）となりました。営業利益は、情報、不動産部門では増益となりましたが、物流、食品部門において減益となったことから18億94百万円（同1.0%減）となりました。経常利益は、受取配当金の増加や支払利息の減少等により14億41百万円（同8.2%増）となりました。四半期純利益は、事業整理損や特別退職金等の特別損失の減少等により7億50百万円（同189.0%増）となりました。

②セグメント別の概況

<物流部門>

物流部門では、売上高は8月に千葉県市川市において市川営業所が営業を開始したこと等により97億93百万円（前年同期比1.0%増）となりましたが、営業利益は市川営業所の開設費用や一部荷主解約の影響もあり13億27百万円（同7.7%減）となりました。

<食品部門>

食品部門では、一般小売店や他卸売業者向けである玄米販売は当用買いの影響を受けて14千玄米トン（前年同期比6.6%減）となりましたが、量販・外食向けである精米販売は38千玄米トン（同7.0%増）となり、総販売数量は53千玄米トン（同2.9%増）となりました。売上高は精米販売の増加により155億82百万円（前年同期比4.5%増）となりましたが、営業利益は24年産米の販売価格下落により販売差益が大きく減少したことから12百万円（同91.0%減）となりました。

<情報部門>

情報部門では、棚卸用ハンディターミナルのレンタル業務が好調に推移し、システム開発においても既存顧客と新規顧客の案件が共に増加したこと等から、売上高は9億5百万円（前年同期比13.9%増）となり、営業利益は1億17百万円（同57.0%増）となりました。

<不動産部門>

不動産部門では、引続き厳しい状況にはあるものの、「ヤマタネビル新館」の稼働が寄与し、売上高は17億64百万円（前年同期比4.0%増）となり、営業利益は7億47百万円（同3.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

資産合計は、投資その他の資産が増加しましたが、受取手形及び売掛金、たな卸資産等の流動資産が減少したこと等から、前連結会計年度末比21億94百万円減少し、859億99百万円となりました。

②負債

負債合計は、営業未払金や短期借入金等の有利子負債が減少したこと等から、前連結会計年度末比32億98百万円減少し、594億92百万円となりました。

③純資産

純資産合計は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したこと等から、前連結会計年度末比11億4百万円増加し、265億7百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年度第2四半期(累計)において食品部門の売上高は精米販売の増加により増収となりましたが、平成24年産米の販売価格下落により販売差益が減少し、同部門の営業利益は当初計画を大きく下回ることとなりました。第3・第4四半期において販売数量は前年同期比増加の見込みですが、販売価格の低下により売上高の増加は小幅に止まり、販売差益の大幅な改善は難しい状況と予想されます。その他の部門についてはほぼ計画通りに推移しておりますが、この様な状況下にあることから、平成25年5月15日発表の通期業績予想を下記のとおり変更いたしました。

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	56,200	4,150	3,200	1,600	15.05
今回修正予想(B)	54,500	3,900	3,000	1,500	14.11
増減額(B-A)	△1,700	△250	△200	△100	
増減率(%)	△3.0	△6.0	△6.3	△6.3	
(ご参考)					
前期実績(平成25年3月期)	53,331	3,967	2,888	3,018	28.40

(参考)

平成26年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	52,000	2,450	2,100	1,300	12.23
今回修正予想(B)	50,800	2,250	1,950	1,200	11.29
増減額(B-A)	△1,200	△200	△150	△100	
増減率(%)	△2.3	△8.2	△7.1	△7.7	
(ご参考)					
前期実績(平成25年3月期)	49,373	2,354	1,949	856	8.06

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を使用できない会社については、法定実効税率を使用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,556	1,663
受取手形及び売掛金	6,197	5,751
たな卸資産	2,523	1,002
その他	1,321	698
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	11,595	9,112
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,034	14,664
土地	46,296	46,277
その他(純額)	6,539	6,491
有形固定資産合計	67,870	67,433
無形固定資産		
投資その他の資産	1,622	1,513
投資その他の資産	6,868	7,681
貸倒引当金	△88	△50
投資その他の資産合計	6,779	7,630
固定資産合計	76,272	76,577
繰延資産	326	308
資産合計	88,194	85,999
負債の部		
流動負債		
営業未払金	2,923	1,709
短期借入金	6,086	5,500
1年内返済予定の長期借入金	1,954	2,355
1年内償還予定の社債	6,353	5,490
その他	2,178	2,422
流動負債合計	19,496	17,477
固定負債		
社債	15,850	15,779
長期借入金	14,476	13,498
退職給付引当金	1,679	1,711
役員退職慰労引当金	126	49
環境対策引当金	119	112
その他	11,041	10,862
固定負債合計	43,294	42,014
負債合計	62,790	59,492

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,555	10,555
資本剰余金	3,775	3,775
利益剰余金	8,215	8,652
自己株式	△1,811	△1,812
株主資本合計	20,735	21,171
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,149	1,712
土地再評価差額金	1,858	1,854
その他の包括利益累計額合計	3,008	3,567
少数株主持分	1,659	1,768
純資産合計	25,403	26,507
負債純資産合計	88,194	85,999

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業収益	27,181	28,045
営業原価	23,618	24,698
営業総利益	3,563	3,347
販売費及び一般管理費	1,649	1,452
営業利益	1,913	1,894
営業外収益		
受取配当金	49	60
その他	14	24
営業外収益合計	63	85
営業外費用		
支払利息	550	484
その他	95	54
営業外費用合計	645	538
経常利益	1,332	1,441
特別利益		
投資有価証券売却益	1	—
固定資産売却益	0	4
金融商品取引責任準備金戻入	1	—
投資有価証券清算益	—	19
その他	—	0
特別利益合計	3	24
特別損失		
固定資産除却損	17	0
特別退職金	80	—
事業譲渡損	62	—
事業整理損	93	—
その他	40	0
特別損失合計	294	0
税金等調整前四半期純利益	1,041	1,464
法人税等	574	585
少数株主損益調整前四半期純利益	466	879
少数株主利益	206	128
四半期純利益	259	750

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	466	879
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△272	599
その他の包括利益合計	△272	599
四半期包括利益	193	1,479
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2	1,314
少数株主に係る四半期包括利益	191	164

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流 関連	食品 関連	情報 関連	不動産 関連	金融・証券 関連			
売上高 外部顧客への 売上高	9,691	14,909	795	1,696	89	27,181	—	27,181
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	273	—	115	9	—	398	△398	—
計	9,965	14,909	910	1,705	89	27,579	△398	27,181
セグメント利益 又は損失(△)	1,438	143	74	720	△89	2,287	△373	1,913

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△273百万円、のれん償却額△107百万円及び未実現利益調整額6百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流 関連	食品 関連	情報 関連	不動産 関連			
売上高 外部顧客への 売上高	9,793	15,582	905	1,764	28,045	—	28,045
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	312	—	113	12	438	△438	—
計	10,105	15,582	1,018	1,777	28,484	△438	28,045
セグメント利益	1,327	12	117	747	2,205	△310	1,894

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△249百万円、のれん償却額△67百万円及び未実現利益調整額5百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメント「金融・証券関連」を廃止しております。

これは、金融・証券関連の事業を営んでおりました金山株式会社を前連結会計年度において清算し、同事業から撤退したことによるものであります。

これにより、第1四半期連結会計期間より「物流関連」、「食品関連」、「情報関連」、「不動産関連」の4つを報告セグメントとしております。